

経験と技術を活かして商品開発 皆さんの後押しで前進

有限会社 高橋土木

年々増加する雪下ろし中の事故。
「犠牲者を1人でも減らしたい」と
命綱を固定するための金具を開発した。

多くの犠牲者を出す雪下ろし

屋根の雪下ろし中に落下する事故が多発している。県内の雪による事故での死傷者は、毎年150名以上おり、その原因の6割は屋根の雪下ろし中に発生している。有限会社高橋土木の高橋忠治社長は、この現実胸を痛めていた。高橋土木がある東成瀬村は、積雪が3mを超えることもある豪雪地帯で、雪下ろしの苦労や危険は、身にしみて知っている。まして高橋土木は「屋根の雪下ろしサポート事業」の受託業者として高齢者宅の雪下ろしを請け負った実績のある“プロ”。日ごろ、本業の土木工事でも高所作業を行っているため、落下防止にも詳しく「誰でも簡単、確実に命綱を張って、安全に作業ができるように」と開発したのが「命綱固定金具」だ。

確実に命綱を固定できる金具

自己流の対策はおろか、命綱無しで雪下ろしをする人は多い。命綱を付けると動きにくい、取り付けるのが面倒、命綱を固定する設備がないなどの理由からだ。「屋根に1mも雪が積もっている場合、仮に命綱を張って作業をしようとしてもどこに固定したらよいか分からない。そもそも命綱を固定する設備が無い屋根がほとんどだ」と高橋社長。「命綱固定金具」は、屋根に取り付ける金具で、雪下ろしの際には金具に命綱を結んで作業できる。安全性の確保はもちろん、「面倒」「動きにくい」という問題を解消する。こうして誕生した「命綱固定金具」だが、世に普及させなければ意味がない。「商品化できるか、実用新案は出願できるか」と

県内企業の皆様方の事業推進をスピーディーにお手伝いするため、県内各地域において移動相談所(無料)を開設しています。課題解決にお悩みをお持ちの方は、是非ご相談ください。

【お問い合わせ】

あきた企業活性化センター/
企画・総合相談担当(018-860-5610)まで。



「命綱固定金具」は屋根に固定し、このように命綱(ロープ)を取り付けて作業をする。屋根の形状ごとに数種類を商品化する予定。
(写真は片流れ屋根用)

模索する中、雄勝地域振興局に当センターの移動相談所が開設されると聞き、相談に出向いた。

あっという間に事が動いた

移動相談所を通じて、実用新案の登録が可能だろうと分かった。また、商品化に向け、県が実施する建設業関係の補助金活用などのアドバイスも受けた。「その後、補助金申請に要する『経営革新計画書』作成でも指導・サポートを受け、さらに安全性の試験を行う専門機関も紹介してもらった。あっという間に事が動いて驚いている」。今後は、引き続き当センターのデザイン部門を利用してネーミングやパンフレットの制作を行う予定だ。「正直、商品化がうまくいくのだろうかという不安はある。しかし、皆さんが背中を押してくれるおかげで前進できた。屋根に命綱用の金具を取り付けることが義務化されたらいいなという夢がある。「命綱固定金具」で一人でも多くの人の命を救いたい」と思いを話す。

有限会社 高橋土木

〒019-0802
秋田県雄勝郡東成瀬村岩井川字村中51-1
Tel.0182-47-2017
Fax.0182-47-3331



「命綱固定金具」の考案者、高橋社長。これまで何度も雪下ろしを経験してきたからこそその知識とアイデアがある。



「命綱固定金具」は、雪が一番少ない屋根の上の敷力所に取り付けて使用する。今後は一般住宅でのモニターテストを行う予定。



今回の相談をきっかけに、当センターの設備投資支援事業により、ホイールローダーを導入。